

クラスの様子【2月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 寒い時期をしっかりと食事と睡眠を摂り換気をしながら健康的に過ごす。

寒い日が続き、子どもたちは体調を崩しやすくなっています。感染症の心配もあるので、しっかりと体調の変化に気づき健康に過ごしていきたいと思います。登園時の身辺整理が、おうちの方のくり返しの中で定着しつつあります。自分のことを自分でしようという気持ちが出てきて、帰りの準備もお友だちが身支度をしているとジャンパーを着てカバンを背負ってお迎えを待つ様子が見られるようになりました。大きいお友だちのおゆうぎ会の練習を見学するのが大好きで、じっと座って長時間集中して見入っていました。お兄ちゃんやお姉ちゃんが登場すると嬉しそうに手を振り拍手をしたり一生懸命に応援していました。子ども達が、日々の生活の中で見て学ぶことの多さを改めて感じました。これからも子ども達がいろいろな刺激を受けながら“やってみたい！”という気持ちを大切に過ごしていきたいと思います。(矢下)



●りす組(もも) **今月の目標** 友だちと関わって遊ぶ楽しさを感じ、身の回りのことは自分でしようとする。

1月は雪や氷、霜柱など冬の自然をたくさん見つけました。雪を触ってみて「冷たい」と感じ、握ってみたりとキャーキャー言いながら雪遊びを楽しみました。雪で冷たくなった手を自分や保育士のほっぺたに当て、手の冷たさを感じたり、手をつないで「あったかい！」と肌の温かさを感じる子もいました。霜柱の上を歩きボリボリとなる音や氷が溶けてなくなり、「氷どこに行ったの？」と不思議なことの発見がたくさんありました。大人にとっては何気ない冬の環境が子ども達にとっては学びの多い発見の連続でした。また、身辺整理や着脱など自分の身の周りの事は自分でしようとするようになりました。自分でしようとする意欲を大切に、出来なくても周りにいる人に「して！」と伝え、助けてもらいながら自分で出来た達成感や喜びを感じていけたらいいなと思います。(谷口)



●りす組(いちご) **今月の目標** 基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことを自らしようとする。

1月は吹く風の冷たさも肌で感じられる日が多かったですが、天気の良い日はお散歩に出掛け、かけっこをして元気いっぱい身体を動かしたり、雪に触れて冷たさを感じたり、霜柱を足で踏み“バリバリ”とする音を感じたりと今の時期ならではの遊びを楽しみました。りす組では、一年間を通して自分のことは自分でできるように朝の身辺整理やオムツ、ズボンの着脱など毎日一人ひとりのペースに合わせて取り組んできました。ズボンを履く時に“うまくできない”と葛藤する姿も見られますが、声をかけながら側で見守ったり、そっと援助をして自分でできたという喜びや達成感を味わっています。このような経験を通して子ども達ができることが増えたり、自分でしようとする気持ちが強くなってきました。2月は、うさぎ組への移行に向けて子ども達が安心して過ごせるように進めていきたいと思います。(紗和子)



●赤うさぎ組 **今月の目標** 友だちの存在を意識しながら生活していくことを、心地良いと感じる。

雪の中、おゆうぎ会を見に来て頂きありがとうございました。朝の離れ際に泣いた子も、舞台上立つ頃には笑顔で大きな声も出ていました。舞台上立つ緊張感も友だちと同じ衣装を身に付け、一緒に出たことで乗り越えられたのかなど、友だちの存在の大きさをあらためて感じさせられるおゆうぎ会となりました。日々の練習の時も、誰の隣でダンスをするとか、自分の目印は何色かと、色々と考えながらも、うさぎぐみさんたちはニコニコで楽しみながら、ダンスを楽しんでいました。「〇〇ちゃんは、赤りんご!」「△△くんは青りんご!」と自分で選んだ色の衣装を着て見せ合う様子は笑顔いっぱいでした。これからも雪が降ったりと寒い日もあると思いますが、天気の良い日は散歩に出たり、また室内では友だちと協力してパズルをしたり、ままごとをしたりと、一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思います。(中村)



クラスの様子【2月号】

●白うさぎ組 今月の目標 友だちの存在を意識しながら生活していくことを、心地良いと感じる

一年間で一番大きな行事であるお遊戯会が無事に終わりました。当日は足元が悪い中お越し頂きありがとうございました。うさぎ組のみんなにとって初めての場所で、初めてのお遊戯会でした。お家の方と離れる時に泣いてしまう子、緊張している子と色々な姿がありましたが、衣装を着ると笑顔になり、舞台袖に移動すると泣いている子は一人もいませんでした。舞台袖では、ライオン組がダンスをしていてそれを見ていた一人の子が「すごいな。僕もあそこで踊れる！！」と今まで緊張していたのが嘘のように笑顔になり、舞台に立つことを楽しみにしていました。「あんな風になりたい」と自然とやる気が生まれ、年長児の姿というのは子どもにとって大きな存在なんだと改めて感じました。舞台に立つと緊張しながらも楽しそうに踊る姿があり、とても嬉しく感動しました。子ども達もお家の方に見てもらうことができ、とても嬉しかったと思います。お遊戯会を通して、ひとまわりもふたまわりも大きく成長した子ども達。うさぎ組で過ごす時間は残りわずかですが、みんなで一緒に楽しい思い出を作っていきたいと思います。(ゆい)



●とちのき組 今月の目標 異年齢でゆったりと関わる時間を大切に、友だちと楽しく過ごす。

1月は子ども達にとっての最大のイベント、おゆうぎ会があり、毎日一生懸命練習に取り組んできました。春から育ててきたあおむしを思い出しながら、自分達で衣装の帽子を製作したり、普段からしている集団遊びを劇の中に取り入れ、楽しみながら練習することができました。劇が大好きで劇の練習がお休みの日でも、子どもたちから「練習したい！」という声があり、みんなのやる気にとっても驚きました。練習を通して一人ひとりの成長をたくさん感じる事ができました。おゆうぎ会当日もおうちの方に見てもらえるのをとても楽しみにしていて、緊張しながらも舞台の上で自信を持ってセリフを言ったり、一生懸命動きを表現することができ良かったと思います。たくさんのお客さんの前に立つことは、子ども達にとってもいい経験になったと思います。(平塚)



●くぬぎ組 今月の目標 体調に気を付けながら、友達と一緒にクラスでの活動を楽しむ。

1月25日に子どもたちにとって大きな行事の一つ、おゆうぎ会がありました。この日まで、セリフやダンスの練習を楽しみながら積み重ねてきました。当日も、控え室で、「もう、きがえるの?」「まだ、しやんの?」と、楽しみにし、舞台袖では、お友だちのダンスを小さく踊ったり、セリフを小さな声で一緒に言ったりしていました。少し緊張気味な子もいましたが、笑顔いっぱい頑張ってきた成果を発揮できたおゆうぎ会になったと思います。そしてこのおゆうぎ会によって、一つのことをやり遂げたという事、舞台に立ち温かい声援を頂いた事は、子どもたちにとって大切な経験になったと思います。今年度もあと2ヶ月。体調面に十分気を付けて、友達との関わりを大切にしながら楽しく過ごしていきたいと思います。(伊達)



●さくら組 今月の目標 自分のイメージや思いを伝えたり、相手の言葉や動きを意識しながら遊ぶ。

厳しい寒さが続いています。霜柱を見つけたり白い吐息を吐いたり、小さい体でしっかりと季節を感じる子ども達。おゆうぎ会の練習を頑張りながらも園庭ではみんなで誘い合ってルールのある遊びを楽しんだり、身体を動かして遊びました。おゆうぎ会当日はいろいろとご協力ありがとうございました。練習では自分達でセリフに合わせてジェスチャーを考え同じ役の友だちと練習するなどみんなで創り上げてきました。一週間前から「あと〇回寝たらおゆうぎ会！」と指折り数えて楽しみにしていた子ども達。緊張しながらも本番が終わるとみんな達成感に満ち溢れた笑顔で「あ～たのしかった！」と話す子もいました。おゆうぎ会やそれまでの過程での経験が自信や成長につながってほしいなと思います。そして残り少ないさくら組で過ごす時間の中で異年齢での関わりを大切に、子ども同士の学び合いを大切にしていきたいです。(真里亜)

